

2024年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月10日

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ 上場取引所 東 名
コード番号 8886 URL https://www.woodfriends.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 知秀
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 中島 崇 TEL 052-249-3504
四半期報告書提出予定日 2024年4月11日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第3四半期の連結業績（2023年6月1日～2024年2月29日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第3四半期	24,749	△22.8	△1,532	-	△1,791	-	△1,990	-
2023年5月期第3四半期	32,076	8.9	370	△73.4	△66	-	△94	-

(注) 包括利益 2024年5月期第3四半期 △1,951百万円 (-%) 2023年5月期第3四半期 △52百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第3四半期	△1,365.33	-
2023年5月期第3四半期	△64.92	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年5月期第3四半期	25,717	5,411	18.8	3,320.77
2023年5月期	38,219	7,363	17.8	4,685.05

(参考) 自己資本 2024年5月期第3四半期 4,841百万円 2023年5月期 6,831百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年5月期	-	0.00	-	-	-
2024年5月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,709	△20.7	△1,318	-	△1,735	-	△1,951	-	△1,338.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(注) 特定子会社の異動に該当しませんが、株式会社ウッドコンストラクションを新規設立したことに伴い、当第3四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年5月期3Q	1,480,000株	2023年5月期	1,480,000株
2024年5月期3Q	21,917株	2023年5月期	21,917株
2024年5月期3Q	1,458,083株	2023年5月期3Q	1,458,083株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（自 2023年6月1日 至 2024年2月29日）の概況は以下のとおりであります。

愛知県の戸建住宅市場は、物価上昇に伴う実質賃金の低下による消費者の低調な購買意欲等により、需給のバランスが崩れた状況となりました。これに起因し、市場での完成在庫は高い水準で推移する等、厳しい環境が継続しました。

住宅事業では、これまで戸建住宅のシェア拡大を目指し積極的な用地取得を進めてまいりましたが、一部において商品化に時間及びコストを要する用地を取得したこと及び市場の需要を的確に捉えた住宅商品の供給ができなかったこと等により、当期は販売用在庫が基準を大きく上回る状況で開始しました。

このような状況下、財政状態の改善を最優先課題として掲げ、用地仕入、部材生産及び住宅着工の制限を行いました。また、販売期間が長期化した在庫の販売価格を見直す等、販売活動にも注力しました。

これらの取り組みにより、棚卸資産及び有利子負債の圧縮は着実に進みましたが、生産活動の制限による稼働率の低下及び販売価格の見直しにより、住宅事業の収益性は著しく悪化しました。さらに、生産活動の制限に伴う株式会社フォレストノートでの工場稼働率の低下も収益性悪化の要因となりました。

その一方、今後の戸建住宅商品の収益性を回復するための施策として、用地仕入基準及びマーケットの見直しを行うとともに、商品改善及びコスト削減活動にも注力しました。当該商品の供給は第4四半期以降を予定しております。

余暇事業ではゴルフ場運営による収益が安定的に推移するとともに、ホテル運営においてはインバウンド需要の回復により来客数が前年同期比で増加する等、業績は堅調に推移しました。

かねてから、建設しております製材工場（岐阜県美濃加茂市及び加茂郡八百津町）については、次年度からの稼働に向けて計画どおり建設を進めております。

当社は2024年1月、持株会社体制へ移行することを決議し、2024年6月1日を効力発生日（予定）として、当社が営む住宅事業を2024年2月に新設した株式会社ウッドコンストラクションへ吸収分割により承継するための準備に着手しております。

当社グループでは、工場建設を進めております「製材事業」のほか、「森林資源事業」及び「中規模木造建築」といった非住宅分野への展開を積極的に進めており、中長期的には住宅事業に偏重しない事業ポートフォリオの構築を目指しております。

<連結業績>

当社グループの主たる事業である住宅事業での著しい収益性の低下及び戸建住宅販売戸数が前年同期比で減少したことを主な要因として営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失を計上しました。

	売上高	営業損失（△）	経常損失（△）	親会社株主に帰属する四半期純損失（△）
当期実績	24,749百万円	△1,532百万円	△1,791百万円	△1,990百万円
前年同期比	22.8%減	—	—	—

（注）営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失であるため、前年同期比は記載しておりません。

<販売実績>

	戸建住宅	集合住宅	合計
当期実績	517戸	（5棟）88戸	605戸
前年同期比	29.0%減	100.0%増	21.6%減

<セグメント実績>

a 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売及び住宅建設資材の製造・販売

	売上高	セグメント損失(△)	主な増減要因
当期実績	21,617百万円	△1,567百万円	販売戸数の減少及び収益性の著しい悪化によりセグメント損失を計上
前年同期比	25.8%減	—	

(注) セグメント損失であるため、前年同期比は記載していません。

b 余暇事業

ゴルフ場及びホテル並びに公共施設の運営管理及び施設管理

	売上高	セグメント利益	主な増減要因
当期実績	2,044百万円	462百万円	ゴルフ場運営及びホテル運営等が堅調に推移し売上高及びセグメント利益が増加
前年同期比	9.0%増	13.8%増	

c 都市事業

収益不動産の開発並びに施設等の維持管理等

	売上高	セグメント利益	主な増減要因
当期実績	1,135百万円	88百万円	—
前年同期比	0.2%増	7.4%減	

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、棚卸資産の販売による減少を主な要因として、前連結会計年度末と比較し12,502百万円減少し、25,717百万円となりました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、棚卸資産の販売に伴う借入金の減少を主な要因として、前連結会計年度末と比較し10,550百万円減少し、20,305百万円となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により、前連結会計年度末と比較し1,951百万円減少し、5,411百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年1月11日「2024年5月期第2四半期(累計)業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました内容に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,261,419	2,223,486
完成工事未収入金	36,830	8,439
売掛金	260,032	374,657
販売用不動産	17,070,441	7,889,971
仕掛販売用不動産	7,076,676	3,703,747
商品及び製品	807,844	394,762
未成工事支出金	1,636,788	1,023,678
仕掛品	323,172	318,620
原材料	384,356	767,531
その他	749,800	454,006
貸倒引当金	△8,484	—
流動資産合計	31,598,873	17,158,900
固定資産		
有形固定資産	5,813,439	7,705,165
無形固定資産	176,108	347,849
投資その他の資産	631,073	505,260
固定資産合計	6,620,621	8,558,275
資産合計	38,219,495	25,717,175
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,845,199	698,239
買掛金	448,450	481,346
1年内償還予定の社債	507,400	401,200
短期借入金	17,626,793	7,338,550
1年内返済予定の長期借入金	1,441,603	1,483,440
匿名組合預り金	222,580	71,280
未払法人税等	61,521	72,634
賞与引当金	90,316	62,732
完成工事補償引当金	119,463	95,839
その他	794,444	1,159,863
流動負債合計	23,157,774	11,865,125
固定負債		
社債	1,368,200	1,037,000
長期借入金	4,699,338	5,898,991
退職給付に係る負債	3,861	5,285
役員退職慰労引当金	180,492	157,370
その他	1,446,661	1,341,922
固定負債合計	7,698,554	8,440,568
負債合計	30,856,328	20,305,694

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	284,956	284,956
利益剰余金	6,307,569	4,316,799
自己株式	△42,195	△42,195
株主資本合計	6,829,455	4,838,685
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,733	3,267
その他の包括利益累計額合計	1,733	3,267
非支配株主持分	531,977	569,528
純資産合計	7,363,166	5,411,481
負債純資産合計	38,219,495	25,717,175

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)
売上高	32,076,659	24,749,958
売上原価	28,494,764	23,661,295
売上総利益	3,581,894	1,088,663
販売費及び一般管理費	3,211,346	2,621,520
営業利益又は営業損失(△)	370,547	△1,532,856
営業外収益		
受取利息	1,172	2,849
受取手数料	8,985	6,435
受取保険金	3,352	33,879
違約金収入	11,490	18,641
助成金収入	1,026	—
その他	20,510	25,235
営業外収益合計	46,536	87,041
営業外費用		
支払利息	287,224	263,223
資金調達費用	168,924	15,360
その他	27,062	67,073
営業外費用合計	483,211	345,657
経常損失(△)	△66,126	△1,791,472
特別利益		
固定資産売却益	9	—
特別利益合計	9	—
特別損失		
固定資産除却損	688	7,089
特別損失合計	688	7,089
税金等調整前四半期純損失(△)	△66,805	△1,798,562
法人税等	△11,759	154,657
四半期純損失(△)	△55,045	△1,953,219
非支配株主に帰属する四半期純利益	39,619	37,550
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△94,665	△1,990,770

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)
四半期純損失(△)	△55,045	△1,953,219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,080	1,534
その他の包括利益合計	2,080	1,534
四半期包括利益	△52,965	△1,951,685
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△92,585	△1,989,236
非支配株主に係る四半期包括利益	39,619	37,550

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 簡便な会計処理

a 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計上する方法によっております。

b 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	住宅事業	余暇事業	都市事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	29,079,463	1,876,128	1,108,441	32,064,033	12,625	32,076,659	—	32,076,659
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	50,400	135	24,536	75,071	—	75,071	△75,071	—
計	29,129,863	1,876,264	1,132,977	32,139,104	12,625	32,151,730	△75,071	32,076,659
セグメント利益	501,304	406,275	95,063	1,002,643	7,344	1,009,987	△639,440	370,547

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他賃貸収入等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△639,440千円には、セグメント間取引消去2,948千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△642,389千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	住宅事業	余暇事業	都市事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	21,612,740	2,044,949	1,091,663	24,749,353	605	24,749,958	—	24,749,958
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,300	—	44,009	48,309	—	48,309	△48,309	—
計	21,617,040	2,044,949	1,135,673	24,797,662	605	24,798,268	△48,309	24,749,958
セグメント利益 又は損失 (△)	△1,567,975	462,479	88,062	△1,017,433	△206	△1,017,640	△515,216	△1,532,856

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他賃貸収入等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△515,216千円には、セグメント間取引消去△12,847千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△502,369千円が含まれています。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4 2024年2月1日付で新規設立し連結子会社とした株式会社ウッドコンストラクションは「住宅事業」に含めております。